

(4) 下諏訪町ふじ塚遺跡の和鏡

川崎 保 河西克造 長谷川桂子

1 和鏡出土の経過

令和2年に、国土交通省長野国道事務所による一般国道20号（下諏訪岡谷バイパス）改築工事で、下諏訪町ふじ塚遺跡が調査された。

同遺跡及び発掘調査概要については、すでに報告されている（長野県埋文2021）。また、本年度の整理作業の経過や後述する和鏡が出土した礫石経塚の速報的研究成果については、本書に掲載されているので、それぞれ参照されたい。

同年11月12日に、礫石経塚を掘り下げて調査している段階で、かわらけ、銭貨とともに和鏡が出土している。経塚のマウンド上層ではなく、下層から出土していることから、経塚造営段階に一緒に埋納されたものであると推定される。

2 発見された和鏡

種類：和鏡（擬漢式鏡）（図1～4）¹⁾

名称：蓬萊鏡²⁾

年代：室町時代（15世紀）

文様：鏡背（鏡の文様面）には「亀形の鈕座」「双鳥」「松」「笹」などが確認できている。

素材：銅（青銅）

法量：直径8.6cm、縁の高さ0.9cm、重さ129.1g（保存処理前）

3 県内の和鏡例一覧

管見の限りではあるが、長野県内の中世和鏡の例は伝世品などを含めれば、50か所88面あるが、経塚や遺跡から出土した状況がわかる発見例は30か所58面を数える（表1）。

4 和鏡発見の意義

同遺跡調査対象範囲内には、墳丘状の高まりが存在し、「古墳」と認識されていたが、今回の発掘調査の結果、礫石経塚であることが判明した。とくに学術的な発掘調査で経塚から和鏡が出

土した例は今回がはじめてである。鏡が古代の経塚から出土することは知られているが、中世の礫石経塚からの詳しい出土状況が判明したこと、和鏡を埋納する理由や逆に埋納した遺構の性格から中世和鏡の意義について検討することが可能となった。

謝辞

本稿を執筆するにあたって、立正大学時枝務先生をはじめ、長野県立歴史館町田勝則、白沢勝彦、株式会社AB.doの畔上宏夫、竹前和幸各氏の御指導、御協力を得た。文末ながら謝意を表する。

註

1) 図1のX線透過画像は長野県立歴史館撮影。図2～4のオルソ画像およびデジタル拓本は、3次元測量技術研究会：株式会社AB.doとの共同研究の成果（データは同社提供）なお、株式会社AB.do提供の各図は以下の特許によって作成されたものである。

◆特許1 特許 2019-062426

三次元データスケール付与方法及び三次元データスケール付与プログラム

◆特許2 特許 2019-171921

三次元データ凹凸二値化表示方法及び三次元データ凹凸二値化表示プログラム

2) 立正大学教授時枝務先生の御教示による。

表

※名称、時代は主に報告書の記述に従った。

※下伊那の和鏡の年代は主に岡田2007による

★は「信州の文化財データベース」（八十二文化財団ホームページ <https://www.82bunka.or.jp/>、県及び市町村教委監修、2020年3月20日現在）による。

長野県内和鏡一覧（表1）

経塚出土和鏡

No.	遺跡名	名称※	数	時代※・出典・備考
1	坂城町 北日名経塚	和鏡（藤枝蝶鳥鏡、草花飛雀鏡、荻蝶鳥鏡、菊蝶鳥鏡、秋草蝶鳥鏡、松喰鶴鏡、網代地蝶鳥鏡）	7	平安時代末、東博編1988、米山1978 東博所蔵、発掘調査によるものではない。保元2年（1157）銘の鋳銅製経筒と共に、大日名経塚とも
2	坂城町蓬平経塚	和鏡	1	東博編1988、礫石経塚
3	坂城町觀音平経塚	和鏡	1	東博編1988、礫石経塚
4	上田市靈泉寺経塚	和鏡（片輪車飛鳥鏡、菊花散双鳥鏡、菊枝双鳥鏡、柴垣垂柳双鳥鏡、菊花双鳥鏡）	5	室町時代、東博編1988 旧丸子町西内で1897年発見、経筒（天文5（1536）年銘）と共に見つかった。
5	千曲市堂城山経塚	和鏡（山吹飛雀）	2	鎌倉時代初、米山1978、長野市博2019 1873年堂城山で発見、武水分神社に奉納
6	千曲市矢崎山経塚	和鏡（飛鳥山吹流水文）	1	平安時代末、長野県史1988、3号経塚
7	下諏訪町秋宮経塚	和鏡（亀紐・双雀付）	2	室町時代、東博編1988、★町指定文化財、1925年発見
8	下諏訪町 綿の湯経塚	和鏡	1	江戸時代、東博編1988、下諏訪町誌、礫石経塚
9	伊那市下牧経塚	東塚：和鏡7、松喰鶴鏡、菊花飛雀鏡など、西塚：和鏡4	11	平安時代末～鎌倉時代初、伊那市教委1977、東博編1988
10	阿智村京の森経塚	山吹双鳥鏡、楓双鳥鏡、菊花双鳥鏡、草花双鳥鏡、梅花双鳥鏡	5	平安・室町時代、岡田2007、 山吹～草花：12C、梅花：16C
経塚出土鏡計			36	

遺跡出土和鏡

No.	遺跡名	名称※	数	時代※・出典・備考
11	飯綱町表町遺跡	和鏡、菊文を持つ紐座、蝶または草木文	1	平安時代後期、飯綱町教委2014
12	長野市 浅川西条遺跡	和鏡、網代地草鳥鏡	1	平安時代後期、長野市教委1976
13	長野市南宮遺跡	素円和鏡	3	平安時代後期、長野市埋文2001
14	佐久市梨の木遺跡	流水秋草双雀鏡	1	鎌倉時代前期、佐久市教委2001
15	佐久市 下信濃石遺跡	和鏡	1	中世、佐久市教委2006、図・写真なし
16	川上村 金峰山修験道遺跡	鏡	1	中世末～近世、川上村教委1994、長野県教委1998
17	松本市北方遺跡	和鏡破片（円鏡縁のみ）	1	長野県埋文1989a
18	松本市殿村遺跡	円鏡、花筏双鳥鏡	1	室町時代（15C前半）、松本市教委2017・2018
19	松本市北栗遺跡	和鏡（松鶴鏡）	1	中世、長野県埋文1990
20	塩尻市 吉田向井遺跡	円鏡、双雀鏡	1	平安時代後期～鎌倉時代前期、長野県埋文1988
21	朝日村宮前遺跡	双雀蓬萊鏡	1	室町時代、朝日村1991
22	諏訪市荒神山古墳	和鏡（内区欠損）	1	長野県教委1976
23	下諏訪町武居遺跡	和鏡	1	下諏訪町教委1997
24	伊那市富岡遺跡	和鏡、菊花散双鶴鏡	1	室町時代後期、伊那市教委1999
25	宮田村十三塚遺跡	円鏡、松喰鶴鏡	1	平安時代、宮田村他1984
26	飯島町唐沢城跡	和鏡	1	飯島町教委1976、伊藤1993
27	飯田市 駄科北平遺跡	松樹双鳥鏡	1	室町時代（15c後半）、飯田市教委1976、岡田2007
28	飯田市恒川遺跡群 白山遺跡	菊花文	1	安土桃山時代（16c後半）、飯田市教委1992、岡田2007
29	高森町上ノ平遺跡	和鏡（州浜双鳥鏡か）	1	鎌倉時代（13c後半）、高森町教委1996、岡田2007
30	阿智村上の平遺跡	和鏡（梅花双雀鏡）	1	室町時代（16c前半）、岡田2007
その他の遺跡出土計			22	
遺跡出土鏡総計			58	

伝世品等その他の和鏡（出土状況が不明なものを含む）

No.	遺跡名	名称※	数	時代※・出典・備考
31	飯山市 小菅神社蔵	州浜松樹双雀鏡、垣根柳樹双雀鏡、菊文散双雀鏡	3	室町時代、飯山市教委2005、伝世品
32	山ノ内町宇木 八柱神社境内経塚	和鏡	1	平安時代末～鎌倉時代初、山ノ内教委1996 発掘調査によるものではない。
33	長野市大峯遺跡	和鏡（垂柳飛雀鏡）	1	長野市教委1981、発掘調査によるものではない
34	長野市斎宮	花形湖州鏡、象形文字鏡	1	旧信州新町、★
35	千曲市一重山	和鏡（菊花散し、吹寄菊花散し）	2	室町時代、米山1978、更埴市史1994 発掘調査によるものではない
36	千曲市藤ノ木経塚	双雀鏡	2	発掘調査によるものではない
37	坂城町内畠		3	室町時代か、★町指定文化財、1869年発見、永楽錢共伴
38	小谷村豆平諏訪社	菊散檜垣双雀鏡	1	★村指定文化財
39	小谷村宇宮 諏訪神社	梅散双雀文鏡	1	★村指定文化財、1773年発見
40	大町市八坂学音寺	和鏡、菊二双雀文鏡	1	大町市教育要覧、治承3年（1179）3月銘の木造千手觀音立像胎内から発見
41	生坂村日置神社	和鏡	1	室町時代末～江戸時代初、★村指定文化財
42	松本市三瀬経塚		4	詳細不明
43	塩尻市福沢	和鏡 2	2	塩尻市教委1985、塩尻町誌1937に報告、発掘調査によるものではない。
44	上松町	和鏡（擬漢式水草双雀鏡）	1	鎌倉時代、★町指定文化財
45	諏訪市 親塚（四賀普門）	和鏡（松鶴鏡）	1	平安時代、★市指定文化財
46	諏訪市姥ヶ懐経塚	和鏡（松喰鶴鏡）	1	
47	伊那市経ヶ岳山麓	和鏡	1	
48	飯田市 宮ノ前（中平）	和鏡	1	
49	喬木村 城原城跡遺跡	和鏡	1	中世、喬木村教委1991・1997、長野県教委1997
50	泰阜村 アラ山山頂石塚	和鏡、樹木開垣双鳥鏡	1	平安、★村指定文化財
その他鏡計			30	

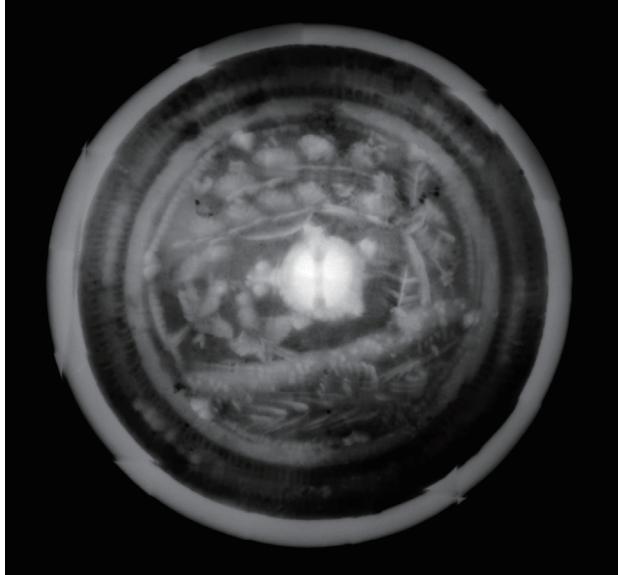
引用参考文献

朝日村 1991『朝日村誌下巻』
 飯田市教委 1976『駄科北平遺跡』
 飯田市教委 1980『中尾・天神遺跡』
 飯田市教委 1992『恒川遺跡群白山遺跡』
 飯田市教委 1996『北の原遺跡』
 飯島町教委他 1976『唐沢城』
 飯綱町教委 2014『表町遺跡』
 飯山市教委 2005『長野県飯山市小菅総合調査報告書』
 伊藤修1993「唐沢城遺跡出土の和鏡」『伊那路』37-11
 伊那市教委 1973『大萱遺跡』
 伊那市教委 1975『山の神遺跡』
 伊那市教委 1977『浜射場・菖蒲沢遺跡』
 伊那市教委他 1995『伊勢並・赤坂遺跡』
 伊那市教委 1999『富岡遺跡第Ⅰ次（平成9年度）・第Ⅱ次（平成10年度）』
 岡田正彦 2007「下伊那地方の唐式鏡・和鏡」『飯田市美術

博物館研究紀要』17

神村透 1990「木曽福島町城山出土の和鏡」『木曽』23
 川上村教委 1994『金峰山修験道遺跡—中世末～江戸時代に金峰山ふもとの川端下区に展開した修験道遺跡の調査—』
 桐原健 1966「長野県更埴市稻荷山湯の崎一松本古墳覚書」『信濃』Ⅲ18-9
 桐原健1968「平安期にみられる山地居住民の遺跡」『信濃』Ⅲ20-4
 更埴市史編纂委員会1994『更埴市史第一巻古代・中世編』
 坂城町教委 1994『南条遺跡群 東裏遺跡Ⅱ・青木下遺跡』
 佐久市教委 1998『宮の上遺跡群 割地遺跡』
 佐久市教委 2001『梨の木遺跡Ⅲ』
 佐久市教委 2006『下信濃石遺跡』
 塩尻市教委 1985『堂の前・福沢・青木沢』
 下諏訪町教委 1997『武居遺跡』
 喬木村教委 1991『阿島城原城跡』

ふじ塚遺跡出土和鏡



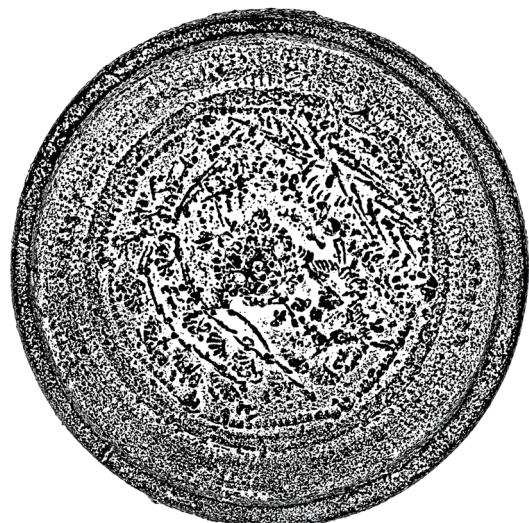
第1図 X線透過画像



第2図 オルソ凹凸強調



第3図 オルソサーフェス画像



第4図 電子拓本画像

0 5 cm

喬木村教委 1997『伊久間原遺跡 下原Ⅱ次』
高森町教委 1996『上ノ平遺跡』
檀原長則 1985「中野市間山発見の八稜鏡について」『高井』
73
茅野市教委 1983『構井・阿弥陀堂遺跡』
東京国立博物館編 1988『経塚：関東とその周辺』
長野県史刊行会 1988『長野県史 考古資料編 全1巻
（4）遺構・遺物』
長野県教委他 1976『長野県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘
調査報告書—諫訪市その4—』
長野県教委他1981『長野県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調
査報告書—茅野市・原村その3—』

長野県教委 1984『長野県埋蔵文化財発掘調査要覧』4
長野県教委 1997『長野県埋蔵文化財発掘調査要覧』7
長野県教委 1998『長野県埋蔵文化財発掘調査要覧』8
長野県教委 2009『長野県埋蔵文化財発掘調査要覧』19
長野県史刊行会 1988『長野県史考古資料編遺構・遺物』
長野県埋文センター 1987『大久保Bほか』
長野県埋文センター 1988『青木沢東ほか』
長野県埋文センター 1989 a『南中遺跡ほか』
長野県埋文センター 1989 b『吉田川西遺跡』
長野県埋文センター 1990『北栗遺跡』
長野市教委ほか 1976『浅川西条2』
長野市教委 1981『箱清水遺跡・大峯遺跡・大清水遺跡』

- 長野市埋文センター 2001 『南宮遺跡Ⅱ』
- 長野市立博物館 2019 『神と仏が宿る里』(展示図録)
- 原村教委 1995 『裏長峰(第1次)発掘調査報告書』
- 松本市教委 2017 『長野県松本市殿村遺跡第7次発掘調査報告書』
- 松本市教委 2018 『殿村遺跡とその時代Ⅶ』
- 松本市教委 1993 『松本市大村古屋敷遺跡・前田遺跡』
- 宮坂光昭 1968 「諏訪湖東縁の終末期古墳群の考察茅野市姥塚古墳の検討から—」『信濃』Ⅲ20-4
- 宮田村土地開発公社他 1984 『狐塚上・十三塚遺跡(中世居館址・十三塚)』
- 南安曇郡誌改訂編纂会 1956 『南安曇郡誌』
- 箕輪町教委 1983 『大原第二・三遺跡』
- 宮沢恒之 1993 「遠山の和鏡二面」『伊那』1993-3・5
- 森本六爾 1933 「八稜鏡を出した信濃の一古墳」『考古学』4-3
- 山ノ内町教委 1996 『上林中道南遺跡発掘調査報告書Ⅲ』
- 米山一政 1978 「特殊遺構—経塚をめぐって—」『更埴更級地方誌第2巻原始古代中世編』同刊行会